

平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月14日

上場会社名 株式会社クリエイティブ・レストランズ・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3387 URL http://www.creatorestaurants.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 晴彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 川井 潤 (TEL) 03(5488)8001
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日 配当支払開始予定日 平成27年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	44,212	31.8	3,378	30.1	3,621	31.2	1,880	90.2
27年2月期第2四半期	33,537	40.7	2,597	13.3	2,760	18.8	988	△14.2

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 2,241百万円(142.3%) 27年2月期第2四半期 925百万円(△33.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	59.76	—
27年2月期第2四半期	31.42	—

(注) 平成26年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	74,599	21,675	22.5
27年2月期	47,034	19,676	32.4

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 16,805百万円 27年2月期 15,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	34.00	—	11.34	—
28年2月期	—	16.50	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	16.50	33.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成26年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため、平成27年2月期期末配当金及び平成28年2月期第2四半期末配当金、平成28年2月期(予想)期末配当金については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	47.2	6,600	58.5	7,200	64.2	4,000	△38.4	127.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社KRフードサービス、除外 1社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	31,574,214株	27年2月期	31,574,214株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	111,015株	27年2月期	111,015株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	31,463,199株	27年2月期2Q	31,463,335株

(注) 平成26年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が終了しており、平成27年10月14日付で四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の先行きに懸念が強まっているものの、政府による金融政策や経済政策等の効果により、企業収益や雇用情勢の改善がみられる等、全体として回復基調にて推移してまいりました。

外食産業におきましては、引き続き円安の進行に伴う原材料価格高騰や人手不足による人件費の上昇等、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした環境の中、当社グループは、昨年に実施した事業部体制の改編により、各事業部においてメニューの開発・刷新や来店動機につなげるべく付加価値のある営業施策を実施し、店舗力の向上を図ったことに加え、近年のインバウンド消費の増加に伴い、訪日外国人の獲得に積極的に努めてまいりました。

また、当第2四半期連結累計期間より株式会社KRフードサービスの106店舗が新たに連結の範囲に加わる一方で、優良案件に絞り込んだ出店や商況の変化に合わせた業態変更及び撤退等の迅速な判断を行い、グループ直営店舗では51店舗の新規出店、14店舗の撤退を実施した結果、当第2四半期連結会計期間末における業務受託等を含む連結店舗数は747店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は44,212百万円(前年同期比31.8%増)、営業利益は3,378百万円(前年同期比30.1%増)となり、経常利益は3,621百万円(前年同期比31.2%増)、四半期純利益は1,880百万円(前年同期比90.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ6,215百万円増加し、23,926百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が823百万円、売掛金が749百万円、有価証券が3,999百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ21,349百万円増加し、50,672百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が5,401百万円、子会社の新規連結等によりのれんが8,078百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ25,565百万円増加し、52,923百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が10,134百万円、社債が950百万円、長期借入金が9,177百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,999百万円増加し、21,675百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が1,532百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末から4,322百万円増加し、18,120百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は5,105百万円(前年同期比80.5%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,696百万円、減価償却費1,477百万円等を計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって使用した資金は16,279百万円(前年同期比275.2%増)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出2,885百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出12,147百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって得られた資金は15,471百万円(前年同期比515.6%増)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額8,280百万円、長期借入れによる収入8,800百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出2,468百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しといたしまして、当社グループは、更なる競争力強化を目的とした『グループ連邦経営』を推進させ、グループ事業会社の育成、経営人材の育成、本社機能の強化等に取り組むことにより、グループ全体として更なる成長を図ってまいります。

また、当第2四半期連結累計期間の業績が、既存店舗売上高が想定を上回って好調に推移していること、原価が想定内にてコントロールできていること、また、連結子会社の決算期変更及び連結子会社の追加により、平成28年2月期通期の業績予想につきましては、平成27年7月14日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成27年10月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、平成27年3月6日付で当社及び連結子会社である株式会社クリエイト・レストランツとの共同新設分割(簡易分割)により、新たに株式会社グルメブランドカンパニーを設立し、連結子会社といたしました。なお、株式会社グルメブランドカンパニーは、特定子会社には該当いたしません。

また、当第2四半期連結会計期間において、平成27年6月30日付で株式会社KRフードサービスの株式99.8%を取得し、平成27年8月31日付で株式会社アールシー・ジャパンの全株式を取得し、新たに子会社といたしました。

なお、株式会社KRフードサービスは特定子会社に該当し、株式会社アールシー・ジャパンは特定子会社には該当いたしません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,802,302	14,625,652
売掛金	2,586,662	3,335,906
有価証券	—	3,999,791
原材料及び貯蔵品	308,076	454,390
前払費用	503,175	727,314
その他	511,120	783,498
流動資産合計	17,711,337	23,926,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,895,989	16,297,200
その他(純額)	2,807,288	5,664,347
有形固定資産合計	13,703,278	21,961,548
無形固定資産		
のれん	7,876,057	15,954,106
その他	58,299	1,835,577
無形固定資産合計	7,934,356	17,789,684
投資その他の資産		
差入保証金	5,885,282	8,015,338
その他	1,800,015	2,906,114
投資その他の資産合計	7,685,298	10,921,453
固定資産合計	29,322,933	50,672,685
資産合計	47,034,270	74,599,240

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,971,472	3,068,538
短期借入金	5,792,960	15,927,068
未払金	2,175,104	3,081,280
未払費用	1,988,919	1,850,430
未払法人税等	488,589	1,416,257
賞与引当金	178,968	553,185
ポイント引当金	—	239,647
株主優待引当金	70,614	90,838
店舗閉鎖損失引当金	111,800	89,855
資産除去債務	112,265	127,976
その他	1,361,073	1,611,162
流動負債合計	14,251,769	28,056,240
固定負債		
社債	40,000	990,000
長期借入金	10,362,560	19,539,792
役員退職慰労引当金	33,397	40,289
退職給付に係る負債	141,666	496,932
資産除去債務	1,465,557	1,881,357
その他	1,063,265	1,918,770
固定負債合計	13,106,446	24,867,142
負債合計	27,358,215	52,923,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,012,212	1,012,212
資本剰余金	4,576,030	4,576,030
利益剰余金	8,976,570	10,509,296
自己株式	△20,323	△20,323
株主資本合計	14,544,490	16,077,216
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△83	△47
為替換算調整勘定	692,249	724,609
退職給付に係る調整累計額	11,877	3,932
その他の包括利益累計額合計	704,043	728,494
少数株主持分	4,427,520	4,870,146
純資産合計	19,676,054	21,675,857
負債純資産合計	47,034,270	74,599,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	33,537,171	44,212,365
売上原価	9,280,826	12,540,506
売上総利益	24,256,344	31,671,858
販売費及び一般管理費	21,658,742	28,293,100
営業利益	2,597,602	3,378,757
営業外収益		
受取補償金	100,000	—
協賛金収入	136,349	285,325
その他	53,170	71,039
営業外収益合計	289,519	356,365
営業外費用		
支払利息	105,869	89,679
その他	21,080	23,705
営業外費用合計	126,949	113,385
経常利益	2,760,172	3,621,738
特別利益		
負ののれん発生益	—	205,257
特別利益合計	—	205,257
特別損失		
減損損失	380,897	23,840
固定資産除却損	26,862	14,317
店舗閉鎖損失	29,444	19,253
店舗閉鎖損失引当金繰入額	47,091	5,718
持分変動損失	—	63,836
その他	309	3,542
特別損失合計	484,606	130,508
税金等調整前四半期純利益	2,275,566	3,696,487
法人税等	1,264,749	1,473,025
少数株主損益調整前四半期純利益	1,010,817	2,223,462
少数株主利益	22,263	343,069
四半期純利益	988,553	1,880,392

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,010,817	2,223,462
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△241	35
為替換算調整勘定	△85,380	32,359
退職給付に係る調整額	—	△14,529
その他の包括利益合計	△85,621	17,866
四半期包括利益	925,195	2,241,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	902,931	1,902,821
少数株主に係る四半期包括利益	22,263	338,507

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,275,566	3,696,487
減価償却費	1,193,185	1,477,288
のれん償却額	308,971	343,929
負ののれん発生益	—	△205,257
減損損失	380,897	23,840
持分変動損益(△は益)	—	63,836
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	35,660	△22,009
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△54,455	20,223
賞与引当金の増減額(△は減少)	136,387	272,278
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	6,636
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,100	6,891
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,120	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△8,916
支払利息	105,869	89,679
固定資産除却損	26,862	14,317
売上債権の増減額(△は増加)	△1,732,443	△492,192
その他の資産の増減額(△は増加)	△79,454	9,658
仕入債務の増減額(△は減少)	406,960	514,375
未払費用の増減額(△は減少)	643,814	△133,122
その他の負債の増減額(△は減少)	313,766	56,141
その他	16,483	21,959
小計	3,997,292	5,756,048
利息及び配当金の受取額	623	3,072
利息の支払額	△105,141	△89,458
法人税等の支払額	△1,077,275	△670,959
法人税等の還付額	12,970	106,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,828,469	5,105,264
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△500,000
固定資産の取得による支出	△2,449,287	△2,885,413
資産除去債務の履行による支出	△96,967	△59,531
差入保証金の差入による支出	△444,260	△747,282
差入保証金の回収による収入	70,326	77,356
関係会社株式の取得による支出	△82,874	△16,613
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,335,239	△12,147,911
その他	△197	△597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,338,500	△16,279,994

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△265,800	8,280,000
長期借入れによる収入	5,200,000	8,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,990,007	△2,468,660
社債の発行による収入	—	1,200,000
社債の償還による支出	—	△10,000
リース債務の返済による支出	△42,962	△37,394
自己株式の取得による支出	△196	—
配当金の支払額	△377,886	△357,150
少数株主からの払込みによる収入	—	64,320
その他	△10,000	623
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,513,147	15,471,738
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△39,353	25,533
現金及び現金同等物の期首残高	963,762	4,322,542
現金及び現金同等物の期首残高	5,253,119	13,798,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,216,881	18,120,644

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループは店舗による飲食提供を主な事業としており、報告セグメントは当該事業のみであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する概要

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループは店舗による飲食提供を主な事業としており、報告セグメントは当該事業のみであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、株式会社KRフードサービス、株式会社アールシー・ジャパンの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより資産の金額が15,371百万円増加しておりますが、報告セグメントは店舗による飲食事業のみであるため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する概要

(のれん金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社KRフードサービスの株式を取得したことに伴うのれんの増加を認識しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては8,461百万円であります。

報告セグメントは店舗による飲食事業のみであるため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社アールシー・ジャパンの株式を取得したことに伴う負ののれん発生益を認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては205百万円であります。

報告セグメントは店舗による飲食事業のみであるため、記載を省略しております。